

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

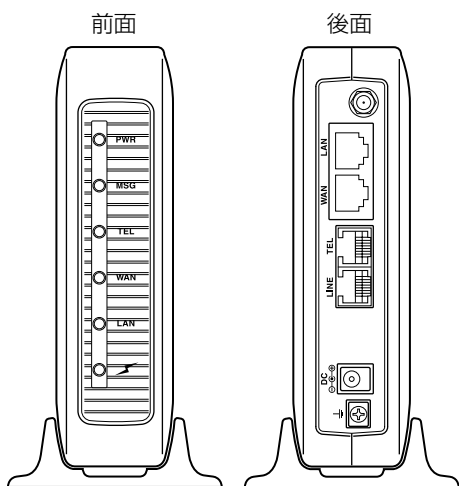
本製品は、株式会社NTTドコモ製のワイドスター II対応端末/ワイドスター・デュオ®に接続して衛星電話回線をご利用できます。

本書では、本製品に付属の取扱説明書とは一部記載が異なる機能について説明しています。

詳細な説明や設定については、本製品に付属のCDに収録されている取扱説明書[活用編]などをご覧ください。

1 ご使用になる前に

本製品で衛星電話回線をご使用になるとき、知っておいていただきたい本製品の機能について説明します。



[LINE]ポート

本製品とワイドスター II対応端末/ワイドスター・デュオ®との接続には、ワイドスターマルチアダプタ/マルチアダプタVが必要です。

※マルチアダプタⅣには使用できませんので、ご注意ください。

※ワイドスターマルチアダプタ/マルチアダプタV以外の機器や一般加入電話回線などとは接続しないでください。

[TEL]ランプ

※[TEL]ポート使用時

衛星電話回線およびIP電話で発着信のときは点灯し、衛星電話回線およびIP電話通話中のときは、高速点滅になります。

PSTN自動最適化

出荷時や全設定初期化時は、本製品の電源を入れるだけで、[LINE]ポートに接続した機器にあわせて、自動的に本製品のエコーキャンセラー機能を最適化します。

2 外線への発信を確認するには

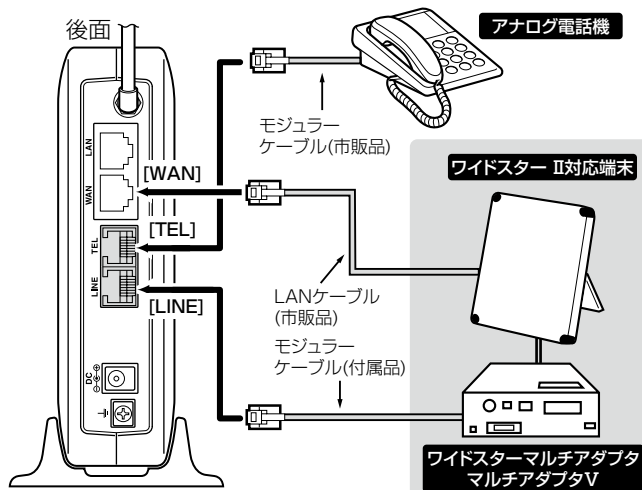
[例：出荷時の場合]

本製品にアナログ電話機を接続した場合を例に、衛星電話回線への発信を確認する手順を説明します。

1. 衛星電話回線の接続

電話機、ワイドスター II対応端末/ワイドスター・デュオ®、ワイドスターマルチアダプタ/マルチアダプタVを接続し、本製品の電源を入れます。

△警告 本製品および接続するほかの機器の電源を切ってから、モジュラーケーブルを接続してください。



ワイドスター II対応端末/ワイドスター・デュオ®, およびワイドスターマルチアダプタ/マルチアダプタVの取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載された内容にしたがってください。

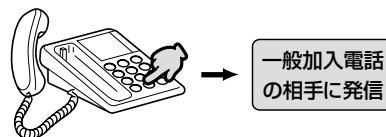
※データ通信は、ワイドスター II対応端末のみ対応

2. 電話機から発信の確認

本製品に接続したアナログ電話機から発信を確認します。

1 電話機の手話器を上げます。
「ツー」と、発信音が聞こえることを確認します。

2 「電話番号」をダイヤルします。
ダイヤルを始めると、本製品の[TEL]ランプが点灯します。



裏面につづく→

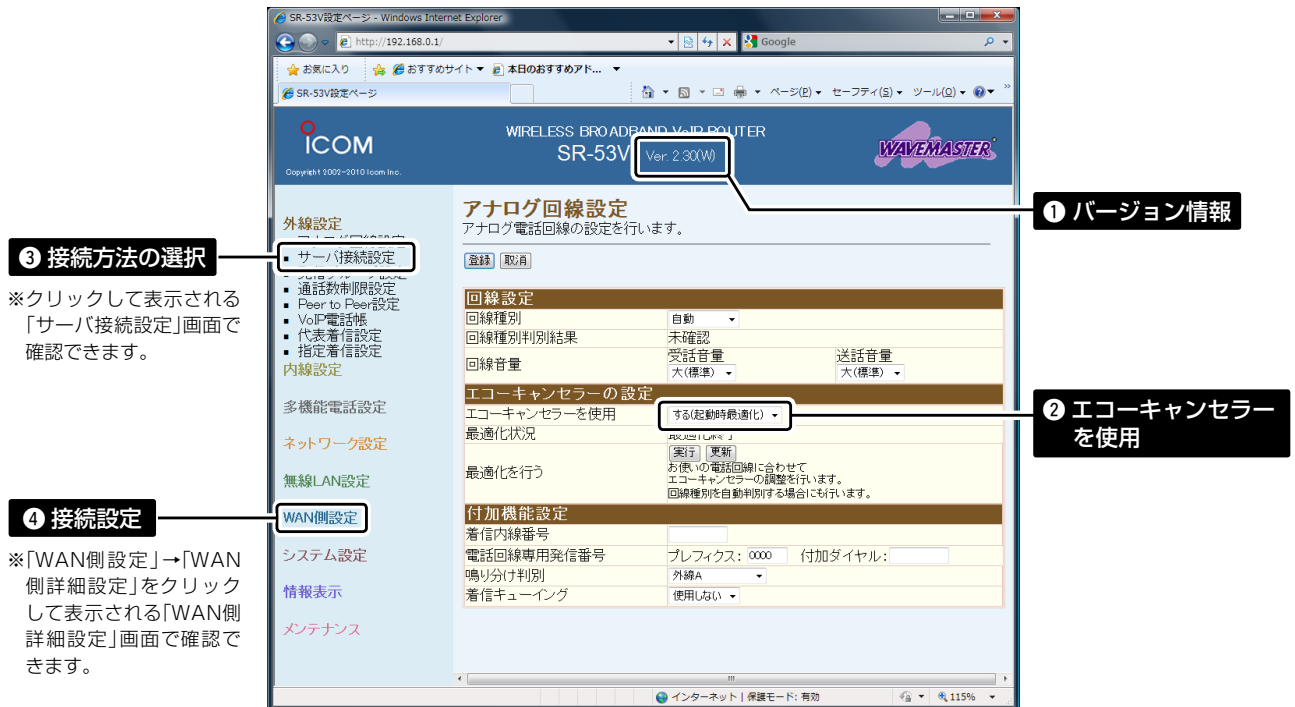
※マルチアダプタVは、ドコモ・モバイル株式会社の製品です。

3

設定画面について

本製品の設定画面では、次の項目が変更されています。

設定画面の構成および設定のしかたについては、本製品に付属の取扱説明書[接続編]をご覧ください。



※上図は、本製品のエコーキャンセラー機能が自動的に最適化された場合の表示例です。

1. バージョン情報

他の弊社製VoIP機器と区別するため、ファームウェアのバージョン情報にワイドスター対応として、設定画面の上部フレーム内に(W)を表示しています。
(表記例：Ver.2.30(W))

2. エコーキャンセラーを使用

「外線設定」→「アナログ回線設定」

出荷時や全設定初期化時は、「する(起動時最適化)」に設定されていますので、本製品の電源を入れる前に、[LINE]ポートにワイドスターマルチアダプタ/マルチアダプタVとモジュラーケーブルで接続してください。

※本製品の電源を入れてから、[LINE]ポートに接続した場合は、最適化されませんのでご注意ください。

3. 接続方法の選択

「外線設定」→「サーバ接続設定」

出荷時や全設定初期化時は、「接続しない (Peer to Peer)」(1対1での通話)に設定されています。

※本製品は、商用IP電話接続業者が指定するSIPサーバの利用には対応していません。

4. 接続設定

「WAN側設定」→「WAN側詳細設定」

PPPoE設定時、またはPPPoE複数固定IP設定時は、「PPPoE詳細設定」の「接続設定」が「自動」に設定されています。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。
WIDESTAR/ワイドスター、WIDESTAR・DUO/ワイドスター・デュオは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。